

第8回 宍粟市戦略委員会における課題・論点の整理

1 第8回宍粟市地域創生戦略委員会の課題・論点の整理

No	課題・論点	対応方針
1	戦略委員会の役割や開催の頻度、サイクルが不明確である。	<p>① 戦略委員会の役割としては、総合戦略の策定・変更以外に『① KPI の評価をつうじた総合戦略の進行管理』と『②地域創生の実現に向けたアイデア・意見の提言』があることを確認。</p> <p>② 開催のサイクルとしては当面、決算確定後(春)と予算編成前(秋)の年2回の開催を基本とする。ただし、今後の議論の進捗に応じて弾力的な運用を図る。</p>
2	現行の総合戦略は平成31年度までの計画となっているが、その先のビジョンをどのように描くのか。	平成32年度からの第2次総合戦略に向けて、平成30年度当初より準備を進めることとし、それに向けて総合計画と総合計画の一本化も視野に入れながら今年度中に基本的な考え方を整理する。
3	KPI の機能・実効性が不明確である。(KPI が取組の実態を反映していない、或いは KPI を作ることが目的化しているのではないか。)	KPI の体系についてはアクションプランも踏まえ、その進行管理を行う上で、より最適なものへと見直しを図る。
4	戦略委員会で何を、どのように議論するのが不明確である。(目次をなぞるだけの議論でよいのか。)	地域創生の実現に向けて、より踏み込んだ議論を行って頂くため、次回以降の会議に向けて論点の整理・検討を行う。
5	庁内、庁外ともに総合戦略の理念や目標の周知、共有化が不十分である。(地域創生課だけの取組になっていないか。もっと市民を巻き込んだ取組が必要ではないか。)	庁内・市民への周知や理念、目標の共有化に向けて、どのような取組が必要か、次回以降の会議に向けて論点の整理・検討を行う。

2 事後意見(意見シート)における課題・論点の整理

提案者	意見要旨
林委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合計画の中でも最重要課題として掲げる宍粟市総合戦略(定住促進重点戦略)を進める上では、同じく総合計画に定める『参画と協働のまちづくり』の実現が不可欠である。 ・ 人口減少に歯止めを掛けるためには、これまでの施策の「常識」が通用しなくなっていることから、地域課題の発生する「現場」の視点に立ち、そこから浮かび上がる疑問や課題を構造化することで、問題の本質にアプローチしていく必要がある。(この過程が「議論の深堀」にあたる。) ・ そのような委員会の議論を市民と職員に発信していく必要があり、そのためにはこれまでの常識に囚われた運営方法を改める必要がある。
玉田委員	<p>(1) 住民自治の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合戦略や総合計画が住民に浸透しているか、そもそも住民は宍粟市の現状を十分理解出来ているのかという疑問を課題として整理する必要がある。 ・ その上で、市として「このような対策をとりたいので、住民の皆さんに協力していただきたい。」という訴えかけを行う事が重要である。 ・ 子どもにもわかるほどの平易に書かれた市の戦略を配布するなどの策をとる事も一つの方法である。 <p>(2) 宍粟市のブランディング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今やまちも「企業」と同じく選ばれる時代であり、他の中山間地域との差別化を図ることが何よりも大切である。企業戦略と同様の手法で宍粟市を差別化する必要がある。
山田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の人口減少を前提として「どのようにしたら、せめてこれまでと同程度の豊かな暮らしを続けることが出来るのか」という切実な課題を具体的に話し合う委員会であっても良い。 ・ 日本全体の人口が縮小していく中、全ての自治体が地方創生に成功するわけではない。(小さなパイの奪い合い) ・ 地域おこしイベントなども根治的な処方箋とはならない事が考えられる中で、KPIの達成を目指す議論に重点を置くよりも現在の生活レベルを維持するにはどうするかという視点で方策を議論し、結果的にKPIの達成へと繋がれば良いのではないかと。

田口委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以下のような点についての議論を深めるべき。 ① 教育の無償化、子ども園のあり方等について ② 父親の働き方や家族で過ごす時間の取り方について ③ 宍粟市の農産物や材木を生かした職場づくり、産業振興について ④ 安全・安心のまちに向けた危険箇所の周知や防災工事のあり方について ⑤ 原子力の危険性や太陽光の普及対策について ⑥ 福祉施設での入所者に対する接し方について
------	---

3 第9回地域創生戦略委員会の論点

上記のような様々な課題への抜本的な対策として、今後の当委員会においては総合戦略の理念・目的を幅広く共有するとともに、市民や事業者を巻き込んで地域全体で取組を進めるための仕組みづくりが再重要課題になると考えます。

そこで今回、第9回委員会における主要なテーマ(論点)として、次のとおりご提案いたします。

テーマ	総合戦略の推進に向けた繋がり場の場(プラットフォーム)づくり
-----	--------------------------------